

文部科学省 「特色ある大学教育プログラム」 シンポジウム

ケースメソッド授業とケース教材

「ケースメソッド授業」とは、ケース教材を使用し、講義形式ではなく、参加者相互の討議を通して学ぶ授業方法です。わが国では経営教育を中心に活用され、教育成果を上げてきました。

しかし、この授業方法の本質的な効力を考えたとき、その領域は経営教育に限られるべきではありません。ケースメソッド授業は実践を伴う幅広い学問領域においても同様に、活用の可能性があるはずであり、実際、そうした可能性を探求すべく、近年、様々な領域でケースメソッド授業の導入が試みられています。

本シンポジウムでは、参加者の皆様に、ケース教材とディスカッション設問に基づく、「個人予習」「グループ討議」「クラス討議」の一連のプロセスを疑似体験していただく場を用意致します。さらにケース教材の選択方法や流通に関する情報、またケースメソッド授業を活用した各領域における先進教育の取組事例を紹介し、1日のプログラムに凝縮して開催致します。

- 日時：

第1回	2008年3月4日(火) 9:00～17:00
第2回	2008年3月13日(木) 9:00～17:00

(両日とも、交流会が 17:00～18:30 にございます[有料])
- 会場：慶應義塾大学 三田キャンパス
南館（法科大学院）地下4階「ディスタンスラーニング室」
東京都港区三田2丁目15番45号 <http://www.keio.ac.jp/access.html>
- 主催：慶應義塾大学大学院経営管理研究科
日本ケースセンター(財団法人貿易研修センター)

募集概要・プログラムは裏面をご覧ください。



参加募集概要

- 募集人数：各回 100 名（先着順）
- 募集対象：高校・大学教員（一般の方の参加も受付致します）
- 参加費：2,000 円(教材費等)
※交流会費 2,000 円は当日受付にてお支払下さい
- 申込方法：次の URL よりお申込み下さい。 <https://www.casecenter.jp/>
- お問い合わせ： event@casecenter.jp（担当：稲葉、川西）

※ 参加費のお支払い方法は、お申込者にメールにてご連絡いたします。

※ 参加費のお支払いが確認できた方には、2 月中旬より順次、事前教材を発送いたします。

プログラム

3 月 4 日(火)・13 日(木) 共通	
8:30～9:00	・・・受付・・・
9:00～9:15	開会挨拶 <ul style="list-style-type: none">● 高木晴夫 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授● 大慈弥隆人 (財)貿易研修センター 専務理事
9:15～10:00	オリエンテーション「ケースメソッドとは」 <ul style="list-style-type: none">● 竹内伸一 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 特別研究講師
10:00～10:30	グループディスカッション 「学校の声が聞こえてこない」、「青梅慶友病院と大塚宣夫」 (2つのケースを併用)
10:30～10:40	・・・休憩・・・
10:40～12:10	ビデオ視聴によるクラスディスカッションの疑似体験 「学校の声が聞こえてこない」、「青梅慶友病院と大塚宣夫」 (2つのケースを併用)
12:10～12:50	質疑応答
12:50～13:50	・・・昼食・・・
13:50～14:50	ケース教材の選び方と使い方 <ul style="list-style-type: none">● 稲葉エツ (財)貿易研修センター 人材育成部長
14:50～16:50	「様々な教育領域でのケースメソッド授業」
	14:50 プレゼンテーション 15:50 パネルディスカッション
14:50～16:50	モデレーター：高木晴夫 慶應義塾大学大学院教授（組織行動） パネリスト：岡田加奈子 千葉大学大学院准教授（学校保健領域） 中村昌允 東京農工大学大学院教授（安全・リスク学） 渡辺尚彦 東京海洋大学教授（食品製造安全管理）
16:50～17:00	閉会挨拶
17:00～18:30	交流会 （会場：北館 1 階「ザ・カフェテリア」）

※3 月 4 日、13 日共に、同じプログラムで開催します。

※講演者等は、事情により予告なく変更する場合がございます。予めご了承下さい。